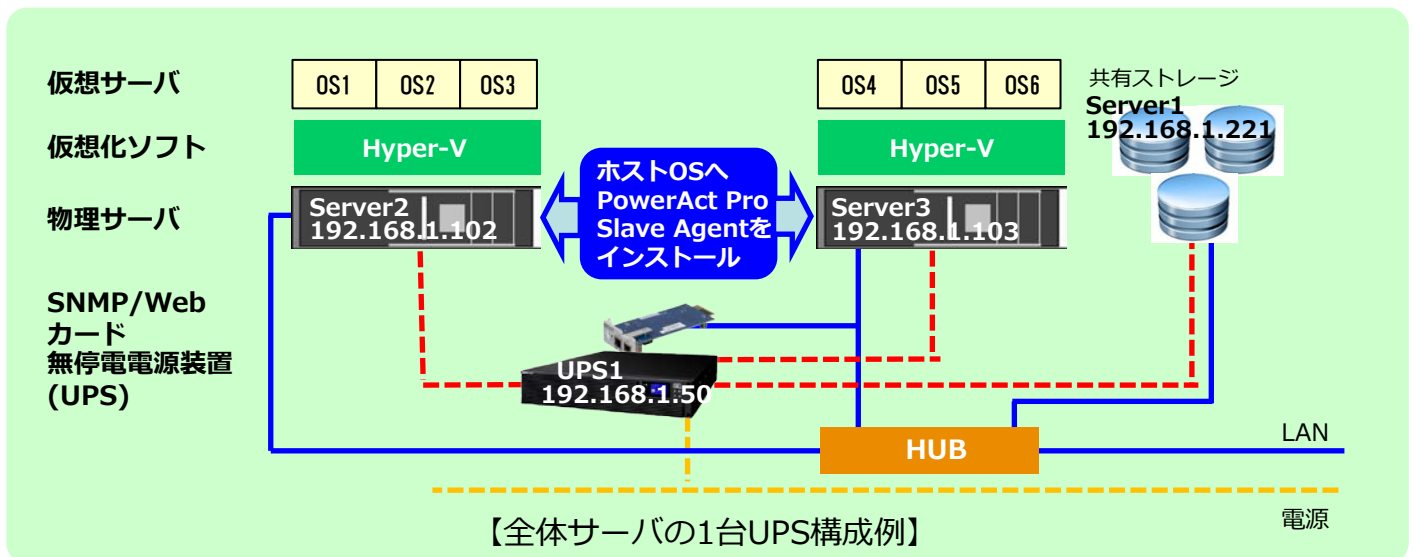


オムロンUPS & Hyper-Vクラスタ 構成事例集

1. 構成図 1



▼構成の概要

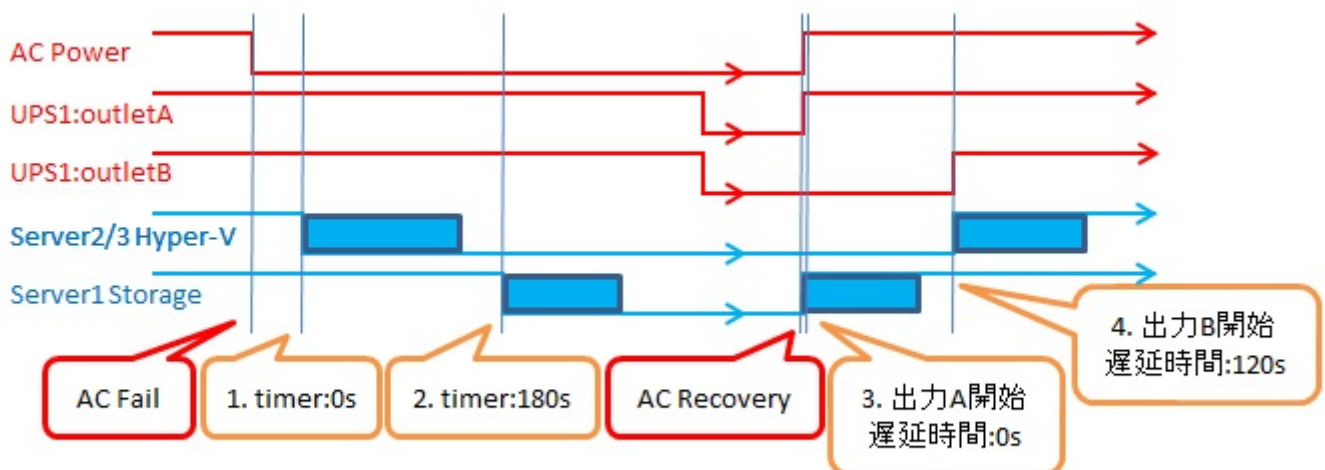
Hyper-Vホスト2台及びびストレージを1台のUPS電源で構成する。

▼構成図の説明

- ・AC電源の停電発生時にストレージを含む本構成全体をシャットダウンする。
- ・Hyper-VホストはPowerAct Pro Slave Agentで設定した待機時間経過後にシャットダウンを行う。
- ・ストレージは設定したHyper-Vホストのシャットダウンに必要な時間経過後、SC20G2からのスクリプト送信により シャットダウンを行う。
- ・UPSは再起動時に時間差を設ける必要があるため、出力コンセント制御ありでサーバ3台の負荷容量をサポートする機種選定が必要。
(出力コンセント A: ストレージ、B: Hyper-Vホスト を接続する)

▼動作シーケンス図

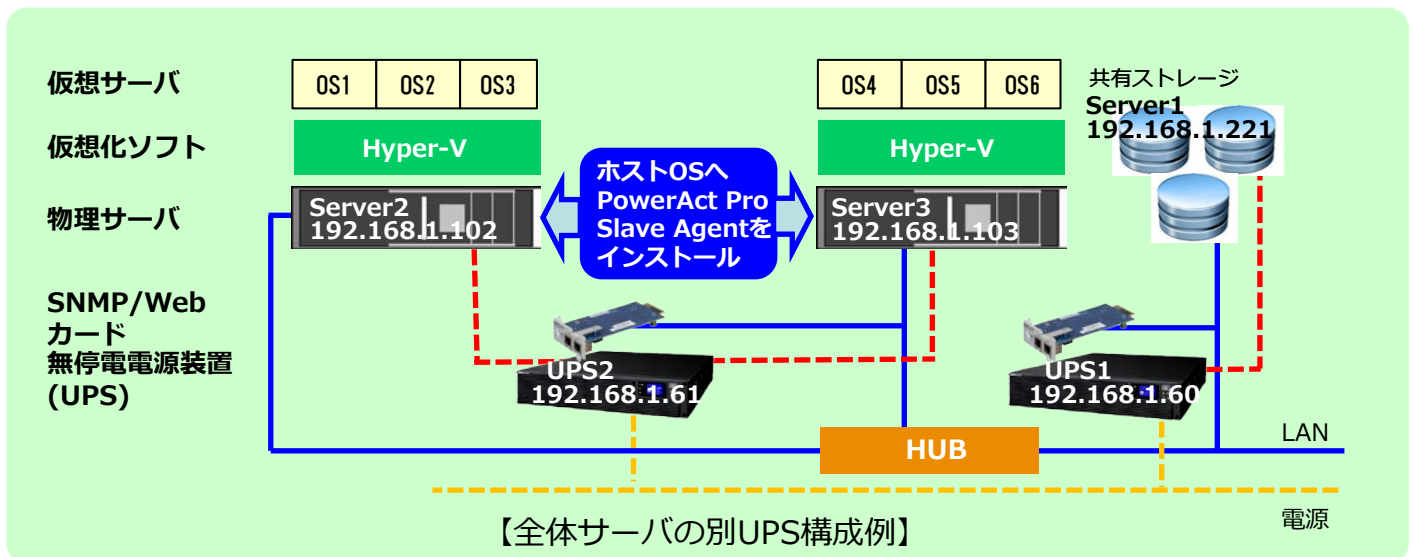
タイミングチャート (AC電源の停電発生と復帰時)



▼特徴

UPS 1台の一番簡単な構成で省スペース。

2. 構成図2



▼構成の概要

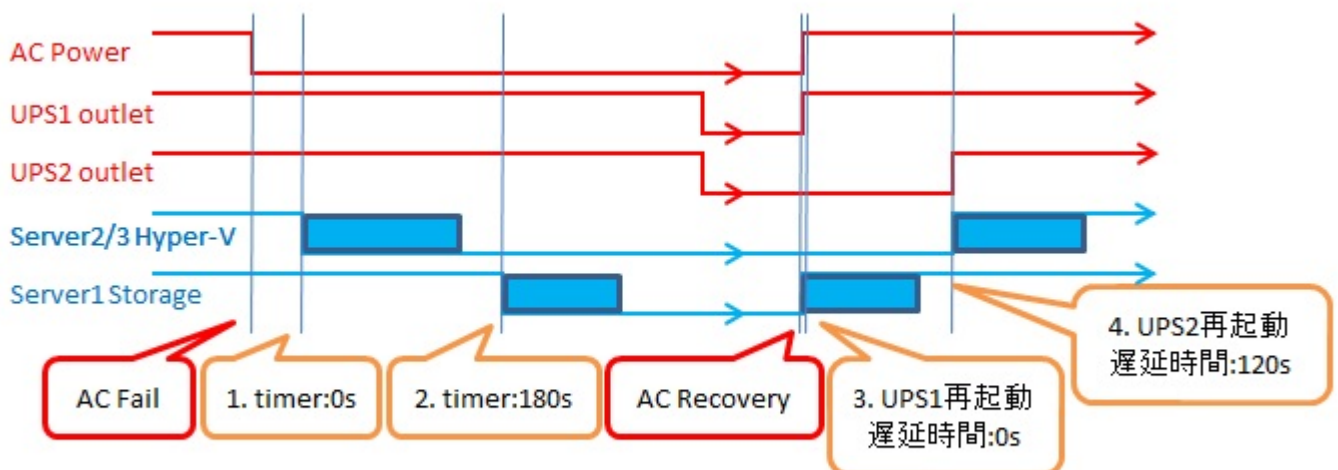
Hyper-Vホスト2台をUPS 1台、ストレージを別のUPS 1台で構成する。

▼構成図の説明

- ・AC電源の停電発生時にストレージを含む本構成全体をシャットダウンする。
- ・Hyper-VホストはPowerAct Pro Slave Agentで設定した待機時間経過後にシャットダウンを行う。
- ・ストレージは設定したHyper-Vホストのシャットダウンに必要な時間経過後、SC20G2からのスクリプト送信によりシャットダウンを行う。
- ・Hyper-Vホスト用の各UPSはサーバ2台の負荷容量をサポートする機種選定が必要。

▼動作シーケンス図

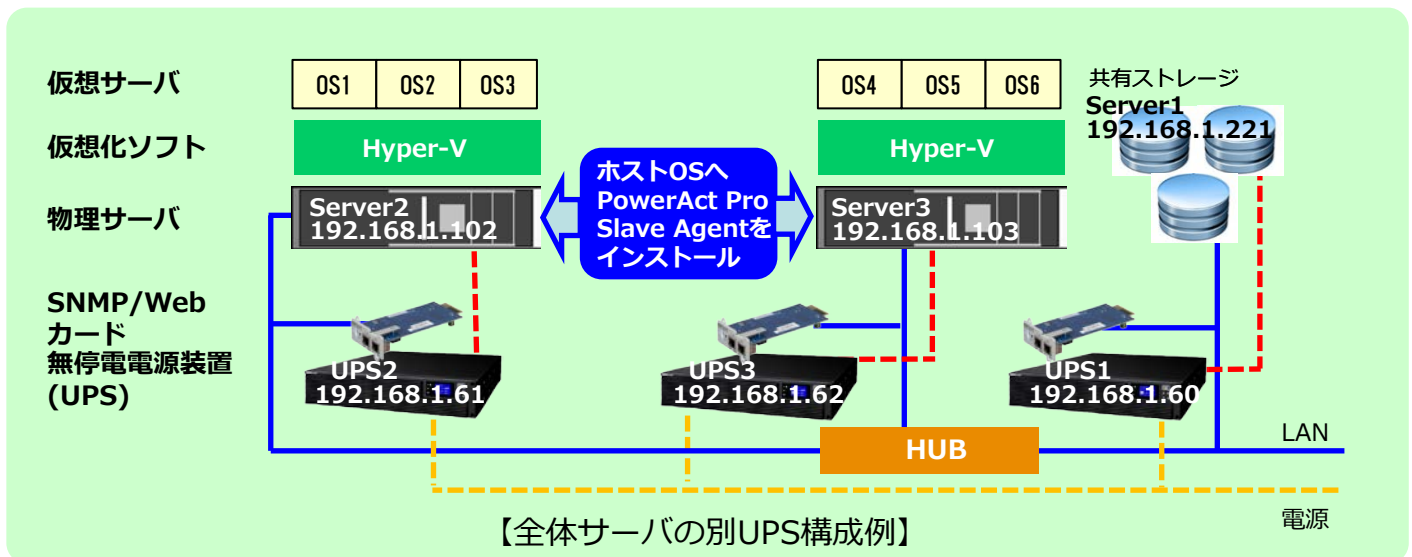
タイミングチャート(AC電源の停電発生と復帰時)



▼特徴

Hyper-Vホスト2台をUPS 1台で構成。ストレージが別の場所で別のUPS 1台で構成。

3. 構成図3



▼構成の概要

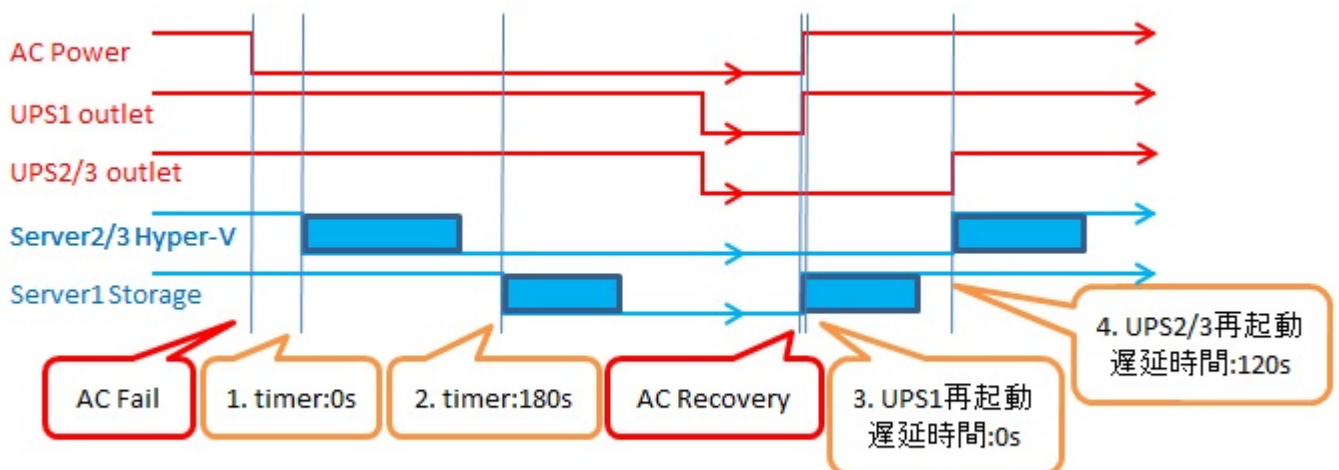
Hyper-Vホスト2台、ストレージを各々別のUPS 3台で構成する。

▼構成図の説明

- ・AC電源の停電発生時にストレージを含む本構成全体をシャットダウンする。
- ・Hyper-VホストはPowerAct Pro Slave Agentで設定した待機時間経過後にシャットダウンを行う。
- ・ストレージは設定したHyper-Vホストのシャットダウンに必要な時間経過後、SC20G2からのスクリプト送信により シャットダウンを行う。

▼動作シーケンス図

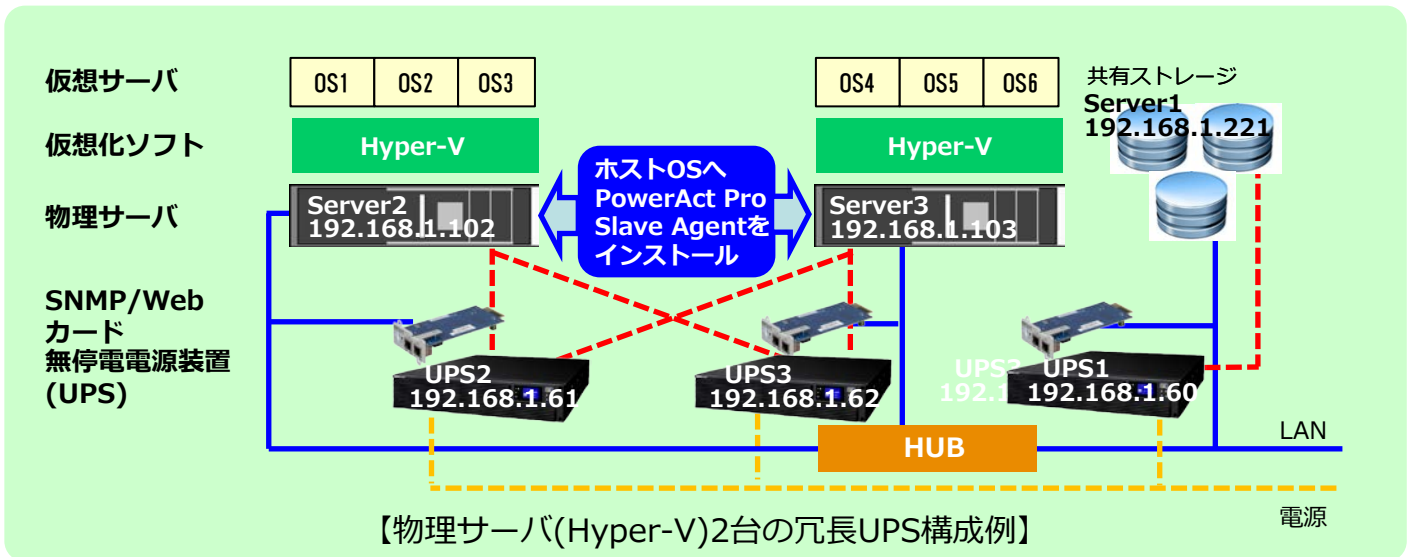
タイミングチャート(AC電源の停電発生と復帰時)



▼特徴

UPS 3台の電源構成でサーバが互いに離れている場合に対応。

4. 構成図 4



▼構成の概要

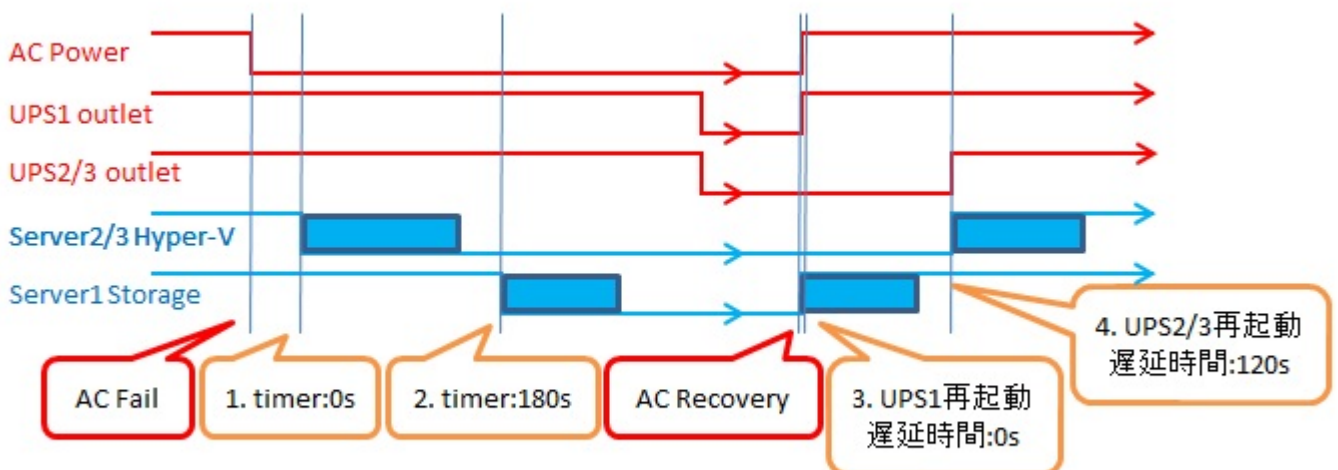
Hyper-Vホスト2台をUPS2台で組んだ冗長電源から、ストレージを1台のUPSから給電する構成。

▼構成図の説明

- ・Hyper-Vホスト2台に対して2台のUPSによる冗長電源で構成し、ストレージを別のUPSで構成する。
- ・AC電源の停電発生時にストレージを含む本構成全体をシャットダウンする。
- ・ストレージは設定したHyper-Vホストのシャットダウンに必要な時間経過後、SC20G2からのスクリプト送信により シャットダウンを行う。
- ・Hyper-Vホスト用の各UPSはサーバ2台の負荷容量をサポートする機種選定が必要。

▼動作シーケンス図

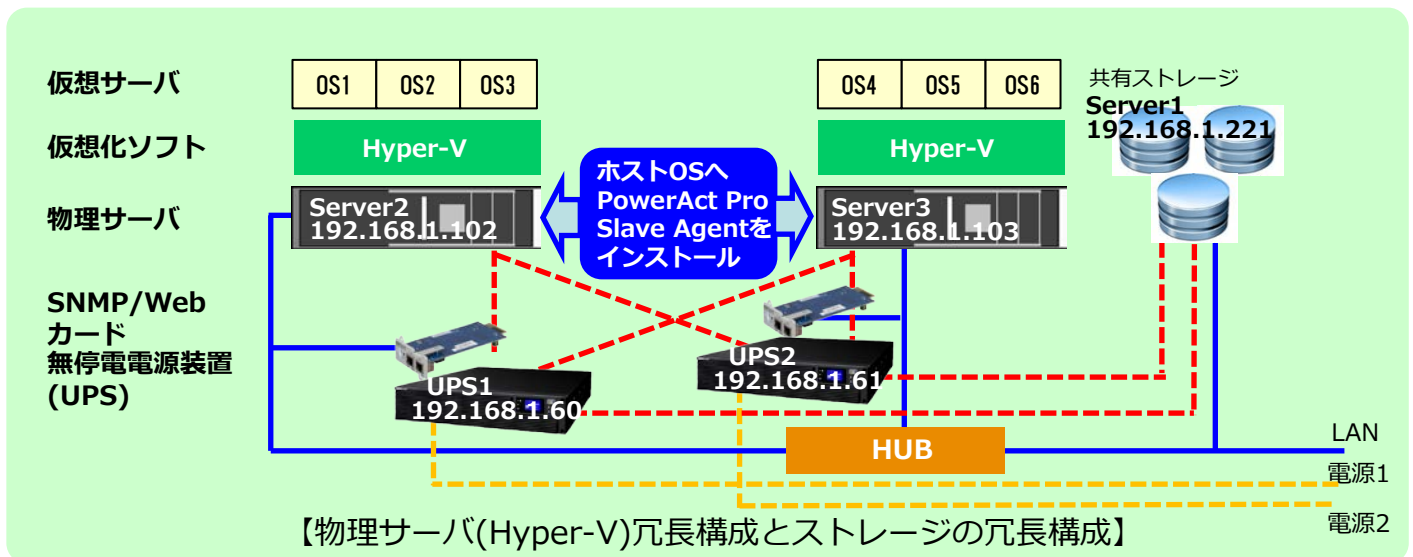
タイミングチャート(AC電源の停電発生と復帰時)



▼特徴

Hyper-Vホストを冗長UPSで構成。ストレージが別の場所で別のUPS 1台で構成。

5. 構成図5



▼構成の概要

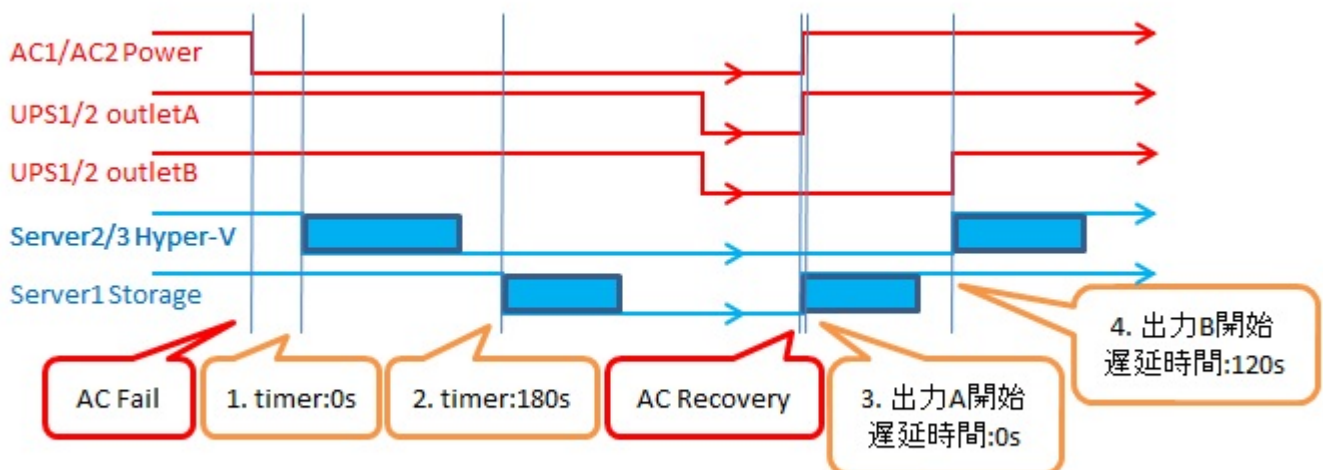
Hyper-Vホスト2台、ストレージに対して、UPS2台で組んだ冗長電源から給電する構成。

▼構成図の説明

- ・Hyper-Vホスト2台およびストレージに対して2台のUPSによる冗長電源で構成する。
- ・AC電源全体（電源1+電源2）の停電発生時にストレージを含む本構成全体をシャットダウンする。
- ・AC電源1またはAC電源2のどちらかのみ停電した場合、本構成はシャットダウンせず稼働を継続する。
- ・Hyper-Vホストは、PowerAct Pro Slave Agentで設定した待機時間経過後にシャットダウンを行う。
- ・ストレージはストレージシャットダウン用のスクリプトを作成し、PowerAct Pro Slave Agentの外部コマンド実行により、シャットダウンを行う。
- ・UPSは再起動時に時間差を設ける必要があるため、出力コンセント制御ありでサーバ3台の負荷容量をサポートする機種選定が必要。（出力コンセント A:ストレージ、B:Hyper-Vホストを接続する）

▼動作シーケンス図

タイミングチャート(AC電源の停電発生と復帰時)



▼特徴

UPS2台による冗長電源構成。